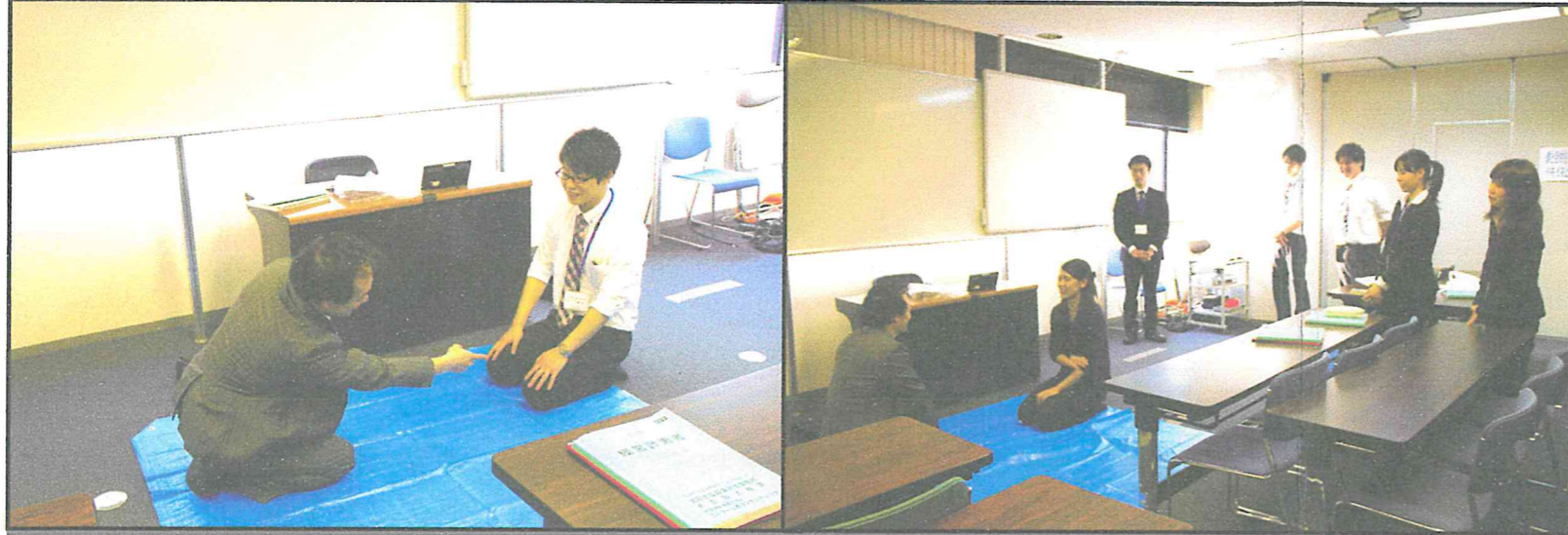


仕事の原点は親孝行にあり。

① 新入社員には経営計画書に従い、先輩社員が口上を教えます。(指導:森田宗治)



② 新入社員はGWに帰省をさせ、初めてのお給料で両親にプレゼントを渡します。
[帰省の交通費は会社で負担します。]



『23年間大変お世話になりました。
これが第1回目の親孝行です。
これからも親孝行しますので
よろしくお願い致します。』

③ 6/1~6/15の間に、会社に親孝行実践レポートを提出させます。

親孝行実践レポート

ゴールデンウィーク前に最終電車で帰省した私を駅まで迎えに来てくれた母の顔を見た時、思わず泣きそうになってしまいました。何も変わっていない家族と桑名の街、たった1ヶ月でこんなにも懐かしいものかとしみじみと感じました。

両親へのプレゼントは母親が以前から行きたいと言っていた、劇団四季のペアチケットにしました。普段子供には何不自由なく育ててくれた両親ですが、自分たちのためには減多にお金を使わないので形に残るものがないかと迷いつつもあえてこれにしました。

いつ渡そうか緊張しましたが、会社の話題になったので、「実は今回の帰省は交通費を会社からいただいている…」と切り出し、素直に感謝の気持ちを伝えることができました。

両親は驚いており、また本当に喜んでくれました。私の上京を少し反対していた両親に、「本当にいい会社に入ったね」といってもらえたのがとても嬉しく、私になぜ、一人で東京まで出て、会計事務所に就職したかを本当の意味で理解してもらえたのではないかと思います。

[今年度レポートより抜粋]

親孝行実践レポート

今回の親孝行月間で母にはジュエリーボックスを贈りました。今まで向かいあってお互いの顔をしっかりと見ながら座り、丁寧な言葉で感謝を伝えたことはなかったので最初は気恥ずかしい気持ちがありました。会社にきっかけを作っていただいたおかげで、今までの感謝の気持ちをきちんと伝えることができ、母に喜んでいただくことが出来ました。

これからは実家に帰る機会は多々あるので、感謝の気持ちを忘れずに、その気持ちをきちんと表して行動していきます。

また、私には4つ年下の弟がいるのですが、その弟の前で業務命令を行ったので、弟にとってのよい親孝行の手本を見せることができました。

今後は親孝行をし続けることはもちろん、会社で訓練させていただいていることをしっかりと身につけ、もっと気づく人間になれるよう頑張っていきます。

早く一人前の仕事ができるようになるよう積極的に行動し、会社に貢献することはもちろん、母に立派に働いている姿を感じてもらえるよう努力します。

④ 親孝行月間の後には、新入社員のご両親から会社にお礼のお手紙をいただくこともあります。

何故親孝行が大切か

人間にとって一番大切な生命は、だれもが親から与えられます。親が自らの生命の本源であります。

親や先祖を大切に思わないということは、その生命の延長線上にある自分自身をもないがしろにすることと同じです。

そうした人間が、他人であるお客様を大切に、感謝できるわけがありません。

また、親を思い、先祖を敬うというプラス思考は、代を重ねることに貯蓄されていきます。

まさに“天の蔵”に富を積むこととなります。

親から子へ、子から孫へとプラス思考は受け継がれます。しかもそのプラスの量は代を経るにしたがって大きくなっていきます。ますます繁栄し、家庭内もさらに円満の度を加えることはいうまでもありません。